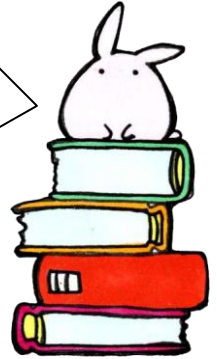


# Shono Street

庄内農業高等学校  
図書館だより  
2013.5.17  
No. 2

だんだんと暖かくなってきていますが、まだまだ肌寒くも感じる季節です。気温差で体調をくずさないよう気をつけましょう。

5月の図書館だよりでは、「新着図書案内」、「各クラス・学年図書貸出状況」、「読書感想文課題図書の紹介」「図書館活用」などたくさんお知らせ・紹介がありますのでぜひ読んでください。



## 新着図書案内

### 『パン屋を襲う』 村上春樹

「殺っちまおう」と相棒は言い、「もう一度襲うのよ」と妻は言った——。空腹に耐えかねた「僕」と相棒が、包丁を忍ばせ商店街へと向かう「パン屋襲撃」。異常な飢餓感に突き動かされた「僕」と妻が、午前二時半の東京をさまよう「パン屋再襲撃」。村上春樹の初期作品が、改稿にともないタイトルを一新して甦る!ドイツ気鋭画家のイラストレーションと構成するアート・ブック。

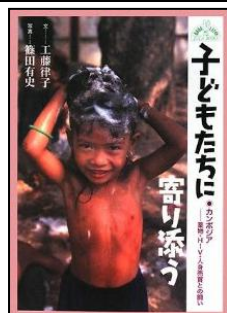


### 『ビブリア古書堂の事件簿4』 三上延

ビブリア古書堂事件簿第4弾! 稀代の探偵、推理小説作家江戸川乱歩の膨大なコレクション。それを譲る代わりに、ある人物が残した精巧な金庫を開けてほしいと持ち主は言う。金庫の謎には乱歩作品を取り巻く人々の数奇な人生が絡んでいた。そして、迷宮のように深まる謎はあの人物までも引き寄せた。美しき女店主とその母、謎解きは二人の知恵比べの様相を呈してくるのだが——。

### 『美術館へ行こう』 草薙奈津子

人生には、美しいものとの出会いが必要だ! 魅力的な展覧会や誰もが楽しめるワークショップは、どうつくられているの? 美術館の表の仕事から舞台裏、さらには美術館の楽しみ方までを、現役の学芸員でもある著者が、豊富な写真を交えて丁寧に解説します。人と美しい作品たちとの出会いを橋渡しする美術館の魅力に惹かれ、足繁く通いたくなる一冊です。そのお供にも。



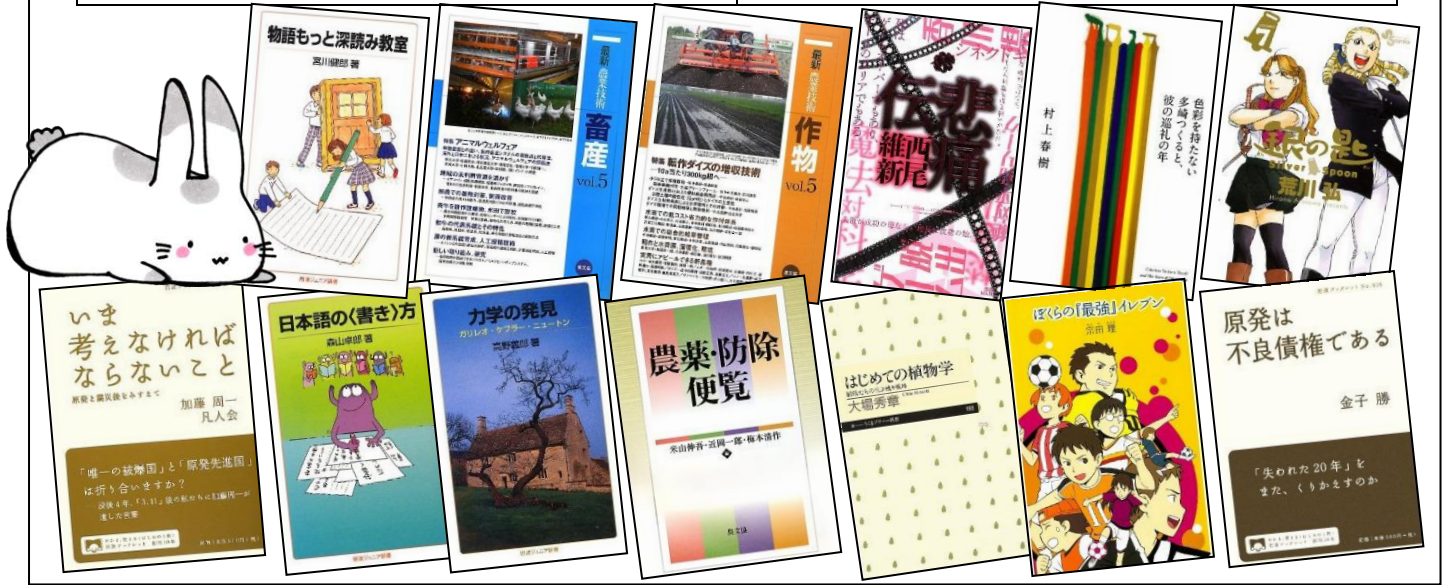
### 『子どもたちに寄り添う』 工藤律子

世界遺産アンコール・ワットを擁する国カンボジア。しかし侵略と内戦の歴史を経た今、貧困家庭の子どもたちは深刻な状況に巻き込まれている。厳しい現実を必死で生きる子どもたちと、彼らを支えようとする大人たちの姿を追う。

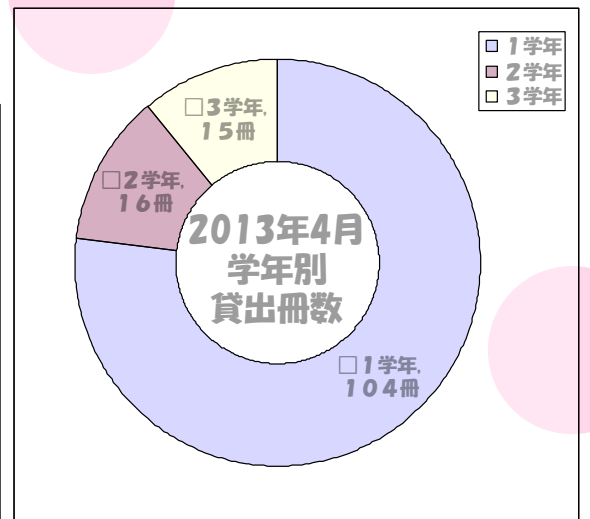
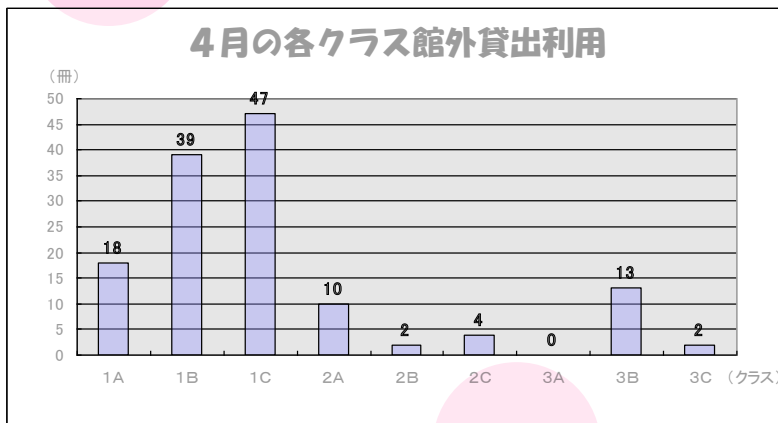


左で紹介した本以外にもたくさんの本が入ったので、自分の目で見に来てくださいね。

『農薬・防除便覧』米山伸吾ほか禁帯出	『力学の発見』高野義郎
『はじめての植物学』大場秀章	『奪衣婆 山形のうば神』鹿間廣治
『物語もっと深読み教室』宮川健郎	『ぼくらの「最強」イレブン』宗田理
『原発は不良債権である』金子勝	『いま考えなければならぬこと』加藤周一
『地域学が担うもの』山形県生涯学習文化財団寄贈	『日本語の〈書き〉方』森山卓郎
『最新農業技術 畜産5』農文協	『最新農業技術 作物5』農文協
『海賊とよばれた男(上・下)』百田尚樹	『銀の匙 7』荒川弘禁帯出
『色彩を持たない田崎つくると、彼の巡礼の年』村上春樹	『悲痛伝』西尾維新



## 4月の各クラス・各学年 図書貸出状況



4月は、1年生の図書館オリエンテーションがあり貸出冊数はなんと135冊となりました。分類別で見ると、総数のうち文学(小説・エッセイなど)が97冊とダントツでトップとなりました。その後は、芸術13冊、自然科学6冊と続いています。

グラフからは各クラスの貸出利用は1Cが、学年別では1学年が、多く読んでいる結果となりました。個人では、すでに10冊以上読んでいる人もいます。皆さんも図書館を利用して、たくさん本を読んでくださいね。

# 今年の課題図書が決定！

毎年学校から応募している全国読書感想文コンクールの課題図書が決定しました。

- ・『歌え！多摩川高校合唱部』 本田有明
- ・『宇宙へ「出張」してきます』 古川聡
- ・『ジョン万次郎』 マーギー・プロイス

図書館に入ったら紹介するので、  
楽しみに待っていてくださいね。



# 2013年本屋大賞

全国の書店員さんの投票だけで選ぶ本屋大賞に百田尚樹さんの『海賊とよばれた男(上・下)』が選ばれました。図書館に入ったので興味のある人はぜひ。

## ◆どんなはなし？

敗戦の夏、石油会社を率いる主人公はなんにもかも失って、残ったものは借金のみ。しかし、社員をひとりも解雇せず、旧海軍の残油集めなどで会社を続けながら、たくましく企業を再生していく。出光産業の創業者・出光佐三氏をモデルとした、本格歴史経済小説。

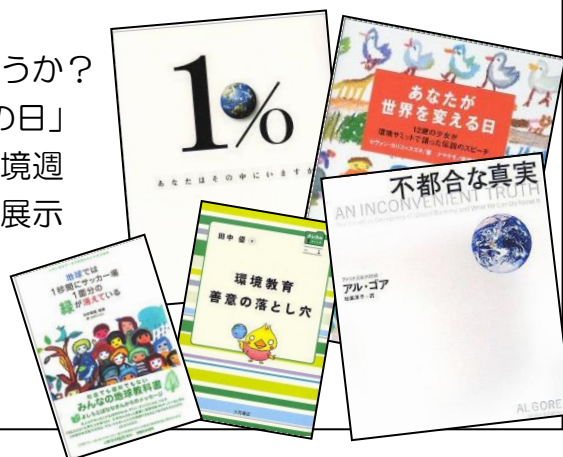


# あなたの環境危機時計は何時？

図書館前廊下にハローキティが描かれたポスターがあります。皆さん見かけましたか？そのポスターは、地球環境の悪化に伴って回答者が人類存続に対して抱く危機感を、時計の針で表示しているそうです。

環境問題。皆さんも気になるところではないでしょうか？来月6月5日は「世界環境デー」、日本では「環境の日」と定められています。そして6月5日～11日は「環境週間」です。図書館では、環境問題をテーマにした本を展示しています。

ぜひ、興味のある人は読んでくださいね。



# 図書館活用！～<sup>じ</sup>事<sup>て</sup>典・<sup>ん</sup>辞典を使いになそう～

図書館には、図書や雑誌などさまざまな資料があります。でも、種類がたくさんあってどの資料を利用したらいいのか分からなくなってしまうことがありますか？課題など調べものをする場合、「なんとなくここかな？」と本棚をさまようのは効率がいいとはいえません。

じゃあどうすればいいの？そんな時、まず活用してもらいたいもの！それは【百科辞典】【専門事典・辞典】です。みなさんが図書館で自分の調べたい内容（テーマ）の言葉の意味・内容を正しく知っておくのにとても便利です。「知ってる」と思っていたことでも、調べると意外なことが分かるかもしれません。



## ◆【事典】と【辞典】の違いってなに？

さて、【事典】と【辞典】なにが違うのでしょうか？

**【事典】とは、物事を説明するもの。**

例)「魚について調べたいな」「太宰治について調べたいな」「アレルギーについて調べたいな」と、いう疑問が出てきたら、事典（百科事典、ポプラディアなど）を調べてみよう！

**【辞典】とは、言葉の意味・使い方・内容を説明するもの。**

例)「本を読んでいて〇〇って書いてあったけど、どういう意味なんだろう？」、「〇〇って日本語／英語ではなんて書くんだろう？」と、いう疑問が出てきたら、辞典（国語辞典・英和辞典・類語辞典・語源辞典など）を調べてみよう！

事典・辞典は調べるための参考図書です。この、ある言葉や物事を調べるための本のことは『レファレンス・ブック』という言い方もします。

課題など調べものをする時は、まずレファレンス・ブックを活用しましょう。



## ◆その1・「百科事典」を引こう！

百科事典は、全分野の知識が集まったとても便利な資料です。物事について知りたい時、何を調べたらいいのかが分からない時に役立つのが百科事典です。調べ物の第一歩として百科事典を活用しましょう。

### ・使い方「索引から引こう！」

辞典の巻末には「索引」があるのでそこから言葉を探しましょう。探したい言葉を見出し語で直接調べると、その項目を見ておしまいになってしまいます。でも索引を利用して探すと、関連していること、他の項目で解説されていることもわかってとても便利です。

### ・新しい情報を得るには？

百科事典は、改訂を頻繁に行うのはとても難しいため、新しいことや最近の発見についてはちょっと苦手としています。そんな時、最新の情報を検索するのに役立つのが「現代用語の基礎知識」や「日本の論点（「文藝春秋オピニオン〇〇年の論点100」）」などです。これらは毎年発行されていて、過去一年間の出来事が収録されています。庄農図書館にもあるので活用してください。

## ◆その2・「事典」を引こう！

ここでいう事典とは専門事典のことです。百科事典は全分野のことについての基本・概要をとらえるためのものです。さらに詳しい情報が必要な場合は、次の段階としてその分野に詳しい事典を活用しましょう。家庭医学の大事典」「世界薬用植物百科事典」「世界のマイノリティ事典」などたくさんあります。他に図鑑を利用するのも。図鑑は絵や写真を中心に解説しているので分かりやすいです。

## ◆その3・「辞典」を引こう！

辞典は言葉や文字の読み方や意味や成り立ちを調べるための資料です。国語辞典、外国語辞典、類義語辞典などさまざまなものがあります。

使ってみよう！

